



ケーススタディ

ドイツ鉄道とDeepLが 世界をつなぐ

DeepLを活用したドイツ鉄道の社内翻訳プラットフォームが、多言語を使用する多数の従業員をつないだ経緯

要点

- ドイツ鉄道はヨーロッパ最大の鉄道企業です。DeepL APIを使って、世界各地32万人の従業員向けに社内翻訳プラットフォームを構築しました。
- DeepLを使えば**世界最高レベルの翻訳**が得られ、**データセキュリティ**も万全です。しかしそれだけではありません。用語集を活用すれば、訳文をカスタマイズできます。企業や業界に特有の用語を使用するドイツ鉄道にとって、用語集はなくてはならない機能です。
- ドイツ鉄道では、従業員が組織内で一貫してコミュニケーションを図れるように、DeepL APIで使用する中央データベースに3万以上の用語ペアを統合しています。

ドイツ鉄道は非常に大きな企業です。ドイツの国有鉄道企業かつヨーロッパ最大の鉄道事業者であるドイツ鉄道は、大規模なインフラを所有しています。2019年には40億人以上の乗客を運び、2億3200万トンの貨物を輸送しました。

ドイツ鉄道には32万人以上の従業員がフルタイムで働いていますが、ドイツを拠点とするのは全体のわずか64%です。多国籍の従業員がいるため、企業として成功するには言語の壁を超えた協力体制が不可欠です。



業界
運輸

主な市場
ヨーロッパ

主な取り扱い言語
英語、ドイツ語、
ポーランド語、フランス語、チェコ語

DeepLのプロダクト
API

ご不明点やご質問はございませんか？ sales@deepl.comまでお問い合わせください。

機械翻訳の理想的なユースケースと言えますが、ひとつ大きな問題がありました。



鉄道業界には技術用語が溢れています。ドイツ鉄道では、エンジニア、車掌、カスタマーサービス担当者など多種多様な職種で、異なる言語を母語とする従業員が働いています。業界特有の用語に加え、異なる方言や言い回しがある中で、ドイツ鉄道では従業員同士が明確にコミュニケーションできる方法を模索していました。

Annette Kraus
ドイツ鉄道の言語部門責任者

一般的な機械翻訳エンジンでは事足りません。ドイツ鉄道では訳文のカスタマイズが必要でした。

DB Corporate Translateで DeepL APIを活用

DB Corporate Translateは、ドイツ鉄道オリジナルの社内翻訳プラットフォームです。ドイツ鉄道グループでは誰もがこのプラットフォームを使ってテキストと文書ファイルを翻訳できます。また、APIを使えばドイツ鉄道の各種アプリケーションにも翻訳機能を統合できます。

ドイツ鉄道では誰でもイントラネットを介してプラットフォームにアクセスでき、毎日数百人がプラットフォームを利用しています。主な使用言語は、アメリカ英語とイギリス英語、フランス語、ポーランド語、チェコ語です。

社内翻訳プラットフォームのDB Corporate Translateは、DeepLの翻訳APIを基盤に構築されています。

このプラットフォームのおかげで、従業員はDeepLの機械翻訳技術に自動でアクセスでき、ソフトウェアの開発者は翻訳機能付きのアプリケーションを構築できます。

DeepL APIを使うことで以下が実現しました。



最高レベルの翻訳品質



データセキュリティ



EU一般データ保護方針
への準拠

何より、用語集のおかげで訳文をカスタマイズできるようになりました。DeepLの用語集では語句の訳し方を指定できるため、業界や企業に特有の語彙を確実に使って翻訳できます。

ドイツ鉄道での用語集の管理方法

ドイツ鉄道では、業界特有の用語に対応できるように特定の訳し方が必要な用語を「専門用語データベース」で中央管理しています。現在、16言語、3万近くの用語がデータベースに登録されています。

ドイツ鉄道の言語管理部では、用語データベースを管理しています。DB Corporate Translateを常に最新の状態に保てるように、DeepL APIで使用する用語集を数週間に一度更新しています。

ご不明点やご質問はございませんか？ sales@deepl.comまでお問い合わせください。

DeepLの用語集では、ただ単に「検索と置換」ができるだけでなく、専門的に言うところの形態統語的に用語を扱えます。つまり、翻訳する際に文法上の性や複数形などを考慮して用語が適用されるのです。



データの保護やセキュリティに加え、ドイツ鉄道特有の用語を使って翻訳するようにエンジンを調整できることが、他の機械翻訳にはないDeepLの大きな強みです。ドイツ鉄道のグループ全体でコミュニケーションの一貫性を保つには、特有の用語を正しく使用しなければなりません。きちんと整理された用語データベースとDeepLがあれば、まったく難しくはありません。

Tom Winter
ドイツ鉄道のデータサイエンティスト
& 計算言語学者

ドイツ鉄道では、用語にマウスオーバーすると企業特有の語彙を確認できる用語認識機能などをプラットフォームに追加しました。



用語集のベストプラクティス

ドイツ鉄道では、用語集の編集と効率的な活用方法の模索にかなりの時間を費やしています。

用語集を活用する他のユーザーへドイツ鉄道からのアドバイスは、用語をひとつ登録するときにその訳語として曖昧さを含まないもの、つまり確実に同義語といえるものを残らずマッピングして、誤訳を生じさせない同義語のみを用語集に登録する、ということでした。

ドイツ鉄道の今後の展望

2022年1月、APIを使った社内システムのDB Corporate Translateを開始しました。そのわずか1か月後、DB Corporate Translateを採用した社内アプリケーションは早くも8つになりました。ドイツ鉄道では、今後も着実に採用が増えてゆくと予想しています。

またドイツ鉄道では、国境を越える路線の運行に際して機械翻訳が役立つケースがあるのではと考え、検討を進めています。

お問い合わせ

コストを抑えながらビジネスを拡大するために、高品質の機械翻訳をお探でしょうか？

詳しくはお問い合わせください